

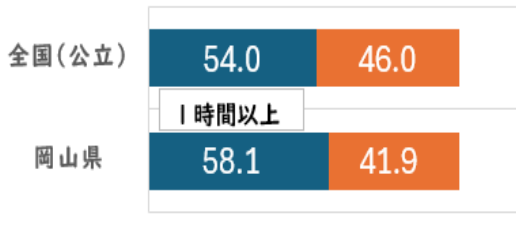
10分の改革から始める

毎日の小さな一歩が、未来の可能性を拓く

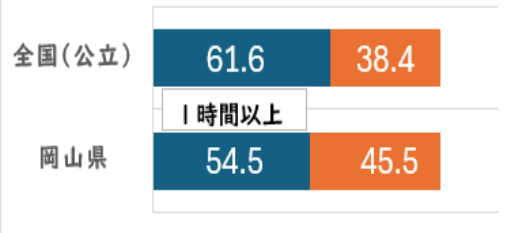
笑輝

第9号
加賀中学校
校長室

小6の平日の家庭学習時間



中3の平日の家庭学習時間



質問

○学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます)。

家庭学習を考える

6月の生徒朝礼で、本年度から定期テストが変更になることや、勉強の仕方の例について、お話をしました。今回は、その続きで家庭学習について考えてみたいと思います。

上のグラフと質問は、昨年度(令和7年度)に実施された、全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙をもとに、全国と岡山県の家庭学習時間を比較したものです。左のグラフが小学6年生、右のグラフが中学3年生のデータです。各グラフの左側が「1時間以上」と回答した割合、右側が「1時間未満」と回答した割合を示しています。

このグラフから、どんな傾向が見えてくるでしょうか。ズバリ、岡山県の中学3年生の家庭学習時間は、全国の中学3年生と比べても、岡山県の小学6年生と比べても、短いことが分かります。コロナ禍以前は、岡山県でも1時間以上家庭学習に取り組んでいると回答した中学3年生は65%、超えていました。

しかし現在は、年々家庭学習時間が短くなる傾向が続いています。全国的にも同じような傾向が見られ、国の分析では、背景にコロナ禍による生活の変化や、スマートフォンなどの動画・SNS視聴の時間が増加したことがあるとされています。

どうでしょうか。少しショッキングなデータでしょうか。しかし、このデータは決して生徒のみなさんを責めるものではありません。「少しの工夫で、まだまだ伸びるチャンスがある」という前向きな可能性を示しています。同調査では、家庭学習時間が長

い児童生徒ほど、平均正答率が高い傾向があることが分かっています。「やればできるようになる」のは、誰でも共通する学びの法則のようです。

そして、未来の可能性を広げる鍵は、授業と家庭学習を何度も行き来する「往還」にあります。例えば、授業で分からなかったことを家で復習し、家で予習したことを授業で確かめる。この繰り返しこそが、知識を深く定着させます。

ただ、ここで大切なのは、「誰かに強制されて無理やりやる家庭学習」を求めているわけではないということです。勉強は、ただ義務感で机に向かうものではありません。何より、みなさん自身の「将来の選択肢を広げるため」、そして「分からなかったことが分かるようになった、新しい自分に出会うため」のものです。自分の世界を広げ、ワクワクする未来をつくるために学習はあるのです。もし、「そうは言っても、何から学習すればいいのかわからない」と困ったときは、まずはいつでも学校の先生たちに相談してください。みなさん、一人ひとりに合った勉強の仕方を一緒に考え、全力でサポートします。

その上で、「やり方は分かったけれど、一人で家にこもって勉強を始めるのはいきなりは難しい」と感じるなら、環境の力を借りてみるのも一つの手です。吉備中央町には、みなさんの学びを応援する「公営塾」が設置されています。家ではどうしても集中できなかったり、学習のペースがつかめなかったりする人は、ぜひ公営塾への入会を検討してみてください。周りの仲間が頑張る姿に刺激を受けながら、前へ進むことができるはずです。まずは、「これまでより10分長く机に向かう」といった小さな一歩からはじめてみよう。